



2013年

9月14日[土] 15日[日] 16日[月・祝]

長岡リリックホール

〒940-2108 長岡市千秋 3丁目 1356番地6
TEL 0258-29-7711

作品紹介

*オープニング上映

紅いコリャン

1987年 中国
*1988年ベルリン国際映画祭金熊賞受賞



DATA

カラー/91分
監督 チャン・イーモウ
出演 コンリー/チャン・ウェン
/トンルー・チュン
原作 莫言(モー・イェン)『紅高粱』
『高粱酒』※2012年ノーベル文学賞受賞
原題 紅高粱
英語題 Red Sorghum
配給 (株)ワコー
©西安映画製作所

1920年代末の中国山東省、私(語り手)の祖母九児(チウアル)は、ラバ1頭で父に売られ、親子ほど年の離れた酒屋の男の元に嫁ぐことになる。御輿で嫁入りに向かう途中、彼女は強盗たちに襲われるが、御輿の担ぎ手余占鰲(ユイチャンアオ)に救われる。実家に里帰りして、再び嫁ぎ先に向かう道すがら、再び強盗が彼女を襲うが、その正体は余占鰲だった。お互いに惹かれあっていた2人は、コリャン畑で結ばれることになる。やがて夫が行方不明となり、酒屋を継いだ九児は余と結婚。コリャン畑で結ばれた日に身ごもった子供豆官(トウコアン)も生まれ、幸せな日々が続くのだが、やがてそこに日本軍が侵襲してくる……。

※本作はデジタル素材による上映です。

14 11:30-
母国紹介有

異国に生きる 日本の中のビルマ人

2012年 日本



DATA

日本語・ビルマ語・英語/100分
監督・製作 土井敏邦
撮影・編集 土井敏邦/横井朋広
整音 藤口諒太
写真撮影・デザイン 野田雅也
配給 浦安ドキュメンタリーオフィス
©DOI Toshikuni

1991年、ビルマ(ミャンマー)軍事政権の弾圧を逃れ、妻を祖国に残し日本に渡ったビルマ人青年チョウチョウソー(チョウ)。生きるためにレストランで働きながら、祖国で封じられた民主化運動を続ける日々。その後、妻とエヌエチョウとの再会がやっと叶い、ビルマ料理店を経営しながら、日本での2人の亡命生活が始まる。第三国でやっと実現した14年ぶりの老父との再会。しかしその父の死の報にもチョウは帰国できなかった。

※本作はデジタル素材による上映です。

14 13:40-
母国紹介有

マシンガン プリーチャー

2011年 アメリカ



DATA

カラー/129分
監督 マーク・フォスター
脚本 ジェイソン・クレア
出演 ジェラルド・バトラー
ミシェル・モナハン
マイケル・ジャクソン
配給 日活
原題 Machine Gun Preacher
©2011 MGP Productions,LLC.
All Rights Reserved.

“銃を持った牧師”と呼ばれる、元麻薬密売人サム・チルダース。愛する家族と離れ、スーダンの子どもたちを救い続ける、知られざる衝撃の実話。ただ、救いたい。拉致された子ども4万人の命。

※本作はデジタル素材による上映です。

14 15:50-
市民講座有

ポエトリー アグネスの詩

2010年 韓国
*第63回カンヌ国際映画祭 脚本賞



DATA

カラー/139分
脚本・監督 イ・チャンドン
出演 ユン・ジョンヒ/イ・デビッド
/キム・ヒラ/アン・ネサン/パク・モジョン
原題 시(詩)
英語題 Poetry
配給 シグロ/キノアイ・ジャパン
©2010 Unikorea Culture & Art Investment Co. Ltd. and PINEHOUSE FILM. All rights reserved.

遠く釜山で働く娘の代わりに中学生の孫息子を育てている初老の女性ミジャ。たまたま通りがかりに詩作教室を見つけ、詩を書いてみたいと思いつく。だが、花鳥風月を眺めては美しい言葉を探る糧やかな日々には飛び込んできたのは、あまりにも厳しい現実。自分がアルツハイマーの初期症状にあること。孫息子が、少し前に自殺した少女アグネスの事件にかかわっていたこと。信じがたい事実を前に、ミジャはたった一人絶望の中で必死に目を惹きつけていく。

これは彼女が言葉を通じていく恐怖にさらされつつ、消えていったアグネスの心に寄り添いながら、一篇の「詩」に辿り着くまでの魂の旅路だ。

※本作はデジタル素材による上映です。

14 19:00-
母国紹介有

戦場の女たち

1989年 オーストラリア+ババ・ニューギニア+日本



DATA

カラー/55分
製作 シグロ
監督 関口典子
製作 関口典子/山上徹二郎 他
撮影 クリス・オーウェン/清水良雄
音楽 小室等
©SIGLO.1989 TENCHIJIN PRODUCTIONS

第2次世界大戦、太平洋戦争と一般に呼ばれている戦争は、アジア・太平洋の人々にとっては“大東亜戦争”である。監督・スタッフは戦後45年たった当時のババ・ニューギニアに長期間のフィールドワークを重ね、(女性たち)へのインタビューを丹念に拾い集める。町には南太平洋最大の従軍慰安所が設置された村は協力者に仕立てられた。その一方で、今でも日本軍が村を救ってくれたと信じる「田中(カナカ)さん」は、日本の軍歌を意気揚々と歌う。戦争の無常さを象徴する場面だ。本作は“大東亜戦争”で、生活と生きる喜びを奪われたババ・ニューギニア戦線の女たちの記録である。

※本作は16mmフィルム上映です。

15 10:00-
トーク有

雨果の休暇

2011年 中国



DATA

カラー/49分
監督 クー・タオ
撮影 クー・タオ/チャオ・ジ
エウエイ/ボン・レイ/ウェイ・ハン
原題 雨果的假期
英語題 Yuguo and His Mother
配給 山形国際ドキュメンタリー映画祭

家族と遠く離れて生活する息子(ユイグオ)が、故郷の森に戻ってきた。内モンゴルの北東、オルグヤの森に積もった雪の中、全身全霊で愛情を表現するエヴェンキ族の母。天真爛漫な彼女を小さな身体で受け止め、気遣う息子。森の生活に戸惑いながらも、家族と生活するつかの間のキラキラした時間を、監督は息子と関わりながら、静かに見守る。

※本作はデジタル素材による上映です。

15 11:50-
母国紹介有

阿賀に生きる

1992年 日本



DATA

カラー/115分/16mm
監督 佐藤真
撮影 小林茂

視覚障害者のために
音声アシスト付き上映

新潟県の大河である阿賀野川。山間の田んぼを守り続ける老夫婦、二百隻以上の川舟を造ってきた舟大工、名人と呼ばれる餅つき職人。みんな田舎裏を囲めば季節の川魚や山の幸を前に、唄を歌い川漁の自慢話に花が咲く。しかし、その一方でこの川と暮らす人びとが新潟水俣病の被害者家族であるという現実をつきつける。原発崩壊後、自然を内包した生き方を考える映画として注目されている。

※本作は16mmフィルム上映です。

15 13:00-
トーク有

暴走

2013年 日本



DATA

カラー/77分
監督 東條政利
出演 鳴海剛/大貫貴世/伊嵩克則
製作 有限会社ゴーズ
Copyright©2013going-inc.com.
All Rights Reserved.

中学二年生の生徒が飛び降りていのを発見された。その生徒の担任教師で、自殺未遂を自分のせいだと思い込む白石。その場をとりあえず収めることが得意な、学年主任の菅原。自殺した子をいじめていたと言われる娘の母親で、白石先生を無茶苦茶に責める田中。その田中をなだめる人格者の教師、山根。とにかくいじめがあったかどうかをうやむやにしたい校長。そして、会議室に集められたいじめっ子グループの親たち。それぞれの責任逃れの大人の思惑が学校の中を駆けめぐる。

※本作はデジタル素材による上映です。

15 16:00-
トーク有

NO MAN'S ZONE 無人地帯

2012年 日本=フランス



DATA

カラー/105分
製作 ヴァレリー=アンヌ・クリ
ステン/ドゥニ・フリドマン
撮影 加藤孝信
編集 イザベル・インゴルド
音楽 パール・フイッブス
English Subtitles/英語字幕付き

東日本大震災の巨大津波で引き起こされた福島第一原発事故で、その周辺20Km、30Kmの同心円内、40Km離れたから最も高濃度の放射能汚染が確認された飯館村など、広大な地域が避難を余儀なくされた。津波の翌日には無人の地となり、多くの津波犠牲者が瓦礫の下に取り残された20Km圏内、隣接する福島県いわき市、避難直前の飯館村を訪ね、目に見える破壊と見えない破壊、失われる美しい田園風景の育んだ人々の生活と歴史を巡るドキュメンタリー。

※本作はデジタル素材による上映です。

15 18:10-
対談有

16 12:40-
トーク有

戦争と一人の女

2012年 日本



DATA

カラー/98分
監督 井上淳一
脚本 荒井晴彦/中野太
出演 江口のりこ/永瀬正敏
/村上淳/柄本明
企画 寺脇研
原作 坂口安吾
配給 ドラッグハウス・ムービー
©2012戦争と一人の女製作
運動体

女は元娼婦の呑み屋の女将。男は坂口安吾自身を模した飲んだくれの作家。自身の欲望に忠実に生きる女と、戦争に絶望した男。その間に、その男が結ぶ。中国戦線で片腕を失い、戦争を十字架のように背負った帰還兵だ。「戦争が終わるまで、やりまらうか」今後に翻弄される男と女。絶望なのか、希望なのか……。今蘇る、昭和官能文芸浪漫。

※本作はデジタル素材による上映です。

16 10:00-
トーク有

*ワールドプレミア上映

橙と群青

2013年 日本



DATA

カラー/80分(予定)
監督・脚本 赤羽健太郎
プロデューサー 清水徹也
撮影 山田達也
照明 玉川直人
録音 落合諒磨
出演 岸建太朗/中村朝佳
/小林ユウキチ/今村紗緒里
©2013 TADAMONO FILM

2011年。長岡に住む写真家の田神誠一は、中越地震の復興をテーマに論文を書いている女子大生の穂波岬と出会い恋に落ちる。3.11直後、精神的にナーバスになっていた田神を慰めたのも岬だった。だが岬は、東京の大学院への進学を志していた。やがて岬の妊娠が明らかになり、責任を感じた田神は、岬と結婚して一緒に東京へ行く決意をする。しかしその一週間後、岬は田神に「あなたの子じゃないかもしれない」との言葉を残して消息を絶つ……。

※本作はデジタル素材による上映です。

16 15:15-
トーク有

*クロージング上映

第15回長岡 インディーズムービー コンペティション

16 17:20-
無料



第12回の授賞式の様子

呉美保監督、入江悠監督、真利子哲也監督とこれまで受賞者が劇場公開作とともに映画祭にお越しくださいました。30分以内の自主映画を厳正な審査の上で受賞作を選んで上映します。

今年の映画祭のテーマは「カメラが写す私たちの未来」です。東日本大震災から三年三か月が過ぎました。映画とは何か。あなたの映画をお待ちしております。長岡から映画人、発信。

14 15:50-
上映後

『マシンガンブリーチャー』市民講座



羽賀友信 【長岡市国際交流センター「地球広場」センター長】
はがとものぶ

1950年新潟県長岡市生まれ。1980年カンボジア難民救援医療プロジェクト(現国際緊急援助隊の原型)に緒方貞子氏らと共に参加し、国境地帯で病院を運営。帰国後、パレスチナ、アフガニスタン、アセアン(気候変動)、ブータン、ヨルダンなどで国際協力にかかわる。また、エジプト、オーストラリアの砂漠体験などを通して

引きこもりや不登校の子どもの自立を支援する「自然塾」を主宰。現職(2002年より)では、多文化共生社会を目指し「出会→交流→協働」をコンセプトとした地域づくり・人づくりを多面的にコーディネートし、地域力を世界に発信している。中越地震(2004年)、中越沖地震(2007年)の際は外国籍被災者の救援に奔走。以来、災害時救援の普及活動やスマトラ沖地震、四川大地震からの復興にも尽力。2008年JICA理事長(緒方貞子)賞受賞、地域づくり総務大臣表彰。2009年度長岡市表彰。

15 16:00-
上映後

『暴走』トーク



鳴海 剛 【俳優】
なるみこう

1965年8月27日生まれ。新潟県出身。
【映画】日韓合作「力道山」(ソンヘソン監督)／「嫌われ松子の一生」(中島哲也監督)
【テレビ】「相棒」／「仮面ライダーカブト」／テレビCM多数出演。イベントMC。プロレスリングアナウンサー



東條政利 【映画監督】
とうじょうまさとし

1968年に長岡市生まれ。長岡高校卒業。同志社大学卒業後、京都太秦のKYOTO映画塾ディレクターコースで映画制作を学ぶ。卒業後、映画やテレビドラマの助監督として活動し、「9/10 ジュウブンノキュウ」(2006)で映画監督デビュー。現在、テレビドラマや映画の監督として活躍中。最新作は『暴走』。

15 18:10-
上映後

16 12:40-
上映後

『無人地帯』トーク

15日 加藤孝信(撮影)×小林茂(映画監督) 対談
16日 藤原敏史監督、加藤孝信(撮影) トーク



藤原敏史 【映画監督】
ふじわらとしゆみ

早稲田大学文学部、南カリフォルニア大学映画学部で学び、映画批評、映画関連の翻訳・通訳、吉田喜重監督の助手等を経て、自らも映画作りに。実験的な全編集団即興の劇映画「ぼくらはもう帰れない」が2006年ベルリン国際映画祭で上映され、注目を集める。同作と並行して製作された「映画は生きもの」の記録である〜土本典昭の仕事(2007年・撮影:加藤孝信)、米軍基地問題を扱った「フェンス」(2008年・撮影:大津幸四郎)など、ドキュメンタリーも手がける。2013年 「ほんの少しだけでも愛を」(劇映画、編集)／「…そして、春」(『無人地帯』続編、ドキュメンタリー、編集)



加藤孝信 【撮影】
かとうたかのぶ

1989年より小川プロダクションに参加。1992年の解散に伴い以降フリーの撮影・照明に。以降、撮影助手として『映画の都』(飯塚俊男監督、1991年)、『小さな羽音』(飯塚俊男監督、1993年)、『満山紅柿』(小川紳介、彭小蓮監督、2001年)等に参加。主なドキュメンタリー作品は『Kidnapped!』(メリッサ・リー監督、2005年)、『映画は生きもの』の記録である「土本典昭の仕事」(藤原敏史監督、2006年)、『Bolinao 52』(Duc Nguyen監督、2008年)、『日々の呟き』(ジル・シオネ、マリー＝フランシーヌ・ジャリュ監督、2009年)、『無人地帯』(藤原敏史監督、2012年)など。

16 10:00-
上映後

『戦争と一人の女』監督トーク



井上淳一 【映画監督】
いのうえじゅんいち

65年、愛知県生まれ。地元の予備校に通っている頃に名古屋シネマスコールにて若松孝二監督に遭遇し、その場で弟子入りを志願。が、「どいあえず大学に進学しなさい。その間(4年間)に映画の勉強をすればいい」と言われ、早稲田大学に入学。若松プロに入りするようになる。数本の助監督経験を経て、90年、オムニバス

作品の1話「彼女の本当を知りたくて」で監督デビュー。その時、「映画芸術」の取材で若松監督を訪れていた荒井晴彦氏に出会う。以後、荒井氏に弟子入りし、脚本家の道を目指す。09年片嶋一貴監督作品「アジアの純真」を執筆し、注目を浴びる。

ゲスト&イベント

15 10:00-
上映後

『戦場の女たち』トーク



本田龍輔 【JICA新潟デスク】
ほんだりゅうすけ

1985年小千谷市生まれ。長岡向陵高校、常磐大学国際学部卒。卒業後は、小千谷市に戻りNPO法人おぢや元気プロジェクトに勤務し、まちづくりや地域おこしのノウハウを学ぶ。2010年1月より青年海外協力隊としてバブアニューギニアに赴任。村落開発普及員として改良かまどの普及やせっけん作りと手洗いの講習会、学校での植林や環境教育などの活動に従事。2012年1月、帰国。同3月より、JICA新潟デスク/国際協力推進員に着任。

15 13:00-
上映後

『阿賀に生きる』トーク

新潟大学附属長岡中学校社会創造科のみなさんも参加します



小林 茂 【映画監督】
こばやししげる

1954年生まれ。新潟県長岡市在住。1992年「阿賀に生きる」(佐藤真監督)の撮影により日本映画撮影監督協会第1回JSC賞受賞。新潟・阿賀野川流域にスタッフ7人で3年間住み込んで制作したこのドキュメンタリーは、当時としては異例の劇場でのロードショー公開がなされ、国内外の映画界で一大ブームを巻き起こした。その後、佐久病院を長期取材し地域医療のあり方を描いた「地域をつむぐ」(時枝俊江監督/1996年)、北海道の炭鉱に生きた人々を描いた「闇を掘る」(藤本幸久監督/2001年)で撮影を担当。一方、自身での監督・撮影作品として、障がいのある子どもを受け入れる児童保育所「つばきクラブ」を描いた三部作「こどものそら」(1997~2000年)を発表。続く2001年には重度障がい者の佐藤正尋さんと介助者たちの日常を描いた「ちよっと青空」を制作。2002年、脳梗塞。2004年、重症心身障害児(者)施設「第二びわこ学園」を描いた長編ドキュメンタリー映画「わたしの季節」により文化庁映画大賞、毎日映画コンクール記録文化映画賞など受賞。2006年、腎不全をおしてケニア取材。2009年、ケニアのストリートチルドレンの生き様を描いた「チョコラ」を東京・渋谷のユーロスペースで公開。著書に「ぼくたちは生きているのだ」(岩波ジュニア新書)「チョコラ!アフリカの路上に生きる子どもたち」(岩波ブックレット)など多数。現在、人口透析をしながら新潟県の豪雪地帯を舞台に「風の波紋—雪国の村から」(仮題)を撮影中。2013年、第17回米百俵賞受賞。

16 15:15-
上映後

『橙と群青』トークショー



岸建太郎 【俳優】
きしけんたろう

1973年3月1日、東京都生まれ。映画、演劇、TVドラマなどに多数出演。主な出演作は、「TAROの塔」('11 NHKドラマ)、「ヒトリシズカ」('12 WOWOWドラマ)、映画「電人ザボーガー」('11)、「ヘルタースケルター」('12)、「めめめのくらげ」('13)、「桜、ふたたびの加奈子」('13)、「デッド寿司」('13)、など。また、映画監督としても、「未来の記録」が国内の映画祭でグランプリ受賞。海外の映画祭にも招待・ノミネートされるなど評価をうけている。



中村朝佳 【女優】
なかむらあさか

5歳から日本伝統芸能のお囃子を通して伝統と表現を学ぶ。地元や各地の祭、イベント、コンクールに参加。16歳から演技の勉強とプロ活動を始め、数多くのドラマや映画に出演。『苦役列車』(2012)『あの娘、早くパパになれ!』(2013)『クロユリ団地』(2013)『幽かな彼女』(2013)。国際交流舞踊団「曼珠沙華」フィレンツェ公演に参加(2010)。イベント「手をつなごう南相馬」(2013)にお芝居で参加。自然と人との関わりを学ぶ為、無農薬農法を勉強し、田植えなどの活動もしている。



赤羽健太郎 【映画監督】
あかはねけんたろう

1977年、長野県松本市生まれ。シナリオ・センターにて脚本を学び、主に脚本家、自主映画監督として活動。監督作品に「博士の部屋」(2008)、「金糸雀は唄を忘れた」(2008)、「U」(2010)、「桜トイレ」(2012)。脚本作品に「美少女デート〜あなたが選ぶ、理想の彼女〜」(2011、BeeTV)、「山宿」(2012、吉田浩太監督)、「男と女と百万円と裸の男」(2013、大谷健太郎監督)など。



■トークショー司会 小林三四郎 【太秦株式会社代表、俳優】
柏崎市出身。1981年 劇団秘宝零番館入団。舞台、映画、テレビ、ラジオと多方面で活躍。映画出演作に「ポストマンブルース」(「闇を掘る」(ナレーション)「ただ、君を愛してる」「黄金花」「キャタピラー」等。ながおか映画祭、函館イルミネーション映画祭の司会も務める。太秦配給作品には、「台湾アイデンティティ」(「セデック・バレ」)「日本の悲劇」など。



14 11:15-
開会式コンサート
ロマンダムール

第3回の映画祭より毎年開会式を盛り上げてもらう音楽ユニット。作詞作曲・ボーカルの神保幸弘を中心に長岡で活動。
“ロマンダムール”の意味はフランス語で「恋愛小説」。愛妻との仲睦まじい姿がよく目撃されている。



新潟県知事 泉田 裕彦

「第18回ながおか映画祭」が、関係の皆様の御尽力によって盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

この映画祭ではアジア各国の良質な映画を上映し、アジア文化に対する県民の関心を深める絶好の機会となっております。

「新潟文化祭2013」の参加協賛事業でもあるこの映画祭を契機に、アジアと新潟の文化交流がますます活発となるとともに、県内の映画文化がさらに発展することを期待しております。



長岡市長 森 民夫

第18回ながおか映画祭の開催、おめでとうございます。『コミュニティシネマ長岡』の皆様をはじめ多くの市民の情熱とご努力によって、この映画祭が長岡に定着していることを誇りに思います。

今年も良質なアジア映画の上映とともに長岡で学ぶ留学生から母国の文化を紹介していただくことにより、市民の皆様から世界を身近に感じてもらえる機会となることでしょう。

また、今年の米百俵賞を受賞した長岡在住の映画監督「小林茂」さんが登場し、映画祭を盛り上げてくださることを大変うれしく思います。

この映画祭が、当市の目指す市民協働の促進と多文化共生社会の実現に大きく寄与するものと期待しております。

新潟大学附属長岡中学校 社会創造科のみなさんより

こんにちは。私たちは社会創造科という授業において、イベントで長岡を活性化させようという目標のもと活動を進めています。

今年のながおか映画祭は、短期間な分、より濃い内容の映画祭を楽しんでいただけるかと思えます。厳選された面白い映画ばかりです。また、今回は映画祭期間終了後にアフターイベントも予定しております。この機会を通して、ながおか、日本だけでなく、世界の映画に目を向けて、広い世界と、映画の素晴らしさに気付きなおいし、存分に楽しむことができることを願います。

上映スケジュール

9月14日(土)

- 11:15 開会式 ロマンダムールコンサート
11:30 紅いコーリャン(中国 91分)
上映前 留学生の皆さんによる母国紹介【10分】
13:40 異国に生きる 日本の中のビルマ人(日本 100分)
上映前 留学生の皆さんによる母国紹介【10分】
15:50 マシガンブリーチャー(アメリカ 129分)
上映後 市民講座 講師 羽賀友信氏【40分】
19:00 ポエトリー アグネスの詩(韓国 139分)

9月15日(日)

- 10:00 戦場の女たち(オーストラリア+パプア・ニューギニア+日本 55分)
上映後 JICA新潟デスク 本田龍輔氏トーク【30分】
11:50 雨果の休暇(中国 49分)
13:00 阿賀に生きる(日本 115分)※視覚障害者のために音声アシスト付き上映
上映後 小林茂(映画監督)トーク【45分】
16:00 暴走(日本 77分)
上映後 鳴海剛(俳優)、東條政利監督トーク【30分】
18:10 無人地帯(日本=フランス 105分)
上映後 対談 加藤孝信(撮影)×小林茂(映画監督)【30分】

9月16日(月・祝)

- 10:00 戦争と一人の女(日本 98分)
上映後 井上淳一監督トーク【30分】
12:40 無人地帯(日本=フランス 105分)
上映後 藤原敏史監督、加藤孝信(撮影)トーク【30分】
15:15 橙と群青(日本 80分※作品時間は予定)
上映後 赤羽健太郎監督、岸建太朗(俳優)予定、中村朝佳(女優)予定、司会 小林三四郎氏トーク【30分】
17:20 第15回インディーズムービーコンペティション【100分】無料

映画祭あれこれ

長岡市在住のコレクター、長谷川浩一さんのコレクションを展示します。映画祭期間中、リリックホールロビーにて。9/14(土)～9/16(月・祝)

第18回ながおか映画祭 「カメラが写す私たちの未来」

期間：2013年9月14日(火)～9月16日(月・祝)

会場：長岡リリックホール

主催：コミュニティシネマ長岡 共催：長岡市／(公財)長岡市国際交流協会

協力：シネ・ウインド／長岡音声アシストの会／新潟大学附属長岡中学校社会創造科

後援：新潟県／JICA地球ひろば／長岡商工会議所／(一社)長岡観光コンベンション協会／長岡ロケなび／新潟日报社／日本経済新聞社 長岡支局／朝日新聞 新潟総局／毎日新聞 新潟支局／読売新聞 新潟支局／産経新聞 新潟支局／長岡新聞社／NHK 新潟放送局／BSN新潟放送／NST／TeNYテレビ新潟／UX新潟テレビ21／ケーブルテレビのエヌ・シー・ティ／エフエムラジオ新潟／FM PORT 79.0／FM ながおか80.7

料金・プレイガイド

前売券	1回券 1,000円 3回券 2,500円 フリー券 5,000円(3日間有効)
当日券	一般・学生1回券 1,200円 高校生、大学生、専門学校生、障害・療育手帳をお持ちの方と介助者(1名のみ) 500円
プレイガイド	長岡市：文信堂長岡店、イオン長岡店、パルス、ラ・ボントーン、キャラメル・ママ、いろは商店、西時計店、ら・なぶう、長岡リリックホール、長岡市立劇場、アオーレ3F市民協働センター、たつまき堂、雑本堂古書店、でくのぼう(与板地区) 新潟市：シネ・ウインド 三条市：みすずまし 柏崎市：et cetera(エトセトラ) 魚沼市：ヘアー・ショップ朝日 十日町市：十日町シネマパラダイス

東日本大震災・長野県北部地震
被災者避難者 全プログラム無料
事前に主催者にお問い合わせください

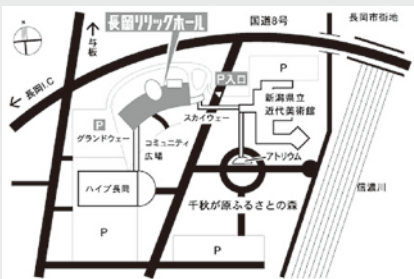
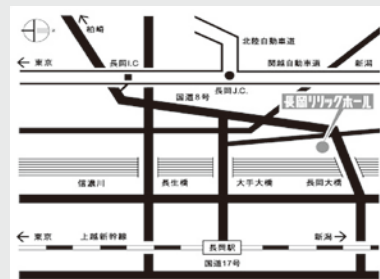
中学生以下
無料

音声アシストのご案内

視覚障害者の方のために音声アシストをご用意します。ご利用の方は9月13日(金)までに下記問い合わせ先までお申し込みください。台数に限りがありますのでお早めにご予約ください。

対象作品：9月15日(日)「阿賀に生きる」 協力：長岡音声アシストの会

会場のご案内 リリックホールまでのバス(市内循環線内回り)長岡駅西口バスターミナル8番線～県立近代美術館下車1分



主催・お問い合わせ先

コミュニティシネマ長岡
住所 〒940-0066 長岡市東坂之上町2丁目3-3 雑本堂古書店内
TEL/FAX 0258-33-1231
E-Mail cc.nagaoka@gmail.com
ブログ http://cinemanagaoka.blog.fc2.com/
携帯 090-9639-6855 関矢(9:00～21:00)

「ながおか映画祭」ホームページ <http://www.mynet.ne.jp/~asia/>
フェイスブックページ <http://www.facebook.com/nagaokafilms>
ツイッターアカウント <http://twitter.com/nagaokafilms>

ボランティアスタッフ募集中!!

ながおか映画祭 趣旨

日頃、観る機会の少ないアジアの国々の映画を通して
異文化理解と市民レベルの国際交流・協力を目的とします。
映画祭を行うことによりアジア文化へのより深い理解を可能にするとともに
新しいアジアの文化の創造につなげていきます。
そして、広く国際交流・協力の機会となる映画祭を目指します。



大人の女性のための セレクトショップ Clair 長岡市城内町3-893-36 TEL 0258-35-9906 http://www.clair-clair.jp	思い出DVDづくり スタジオ トップス http://www.dvd-toppers.com 長岡市福住2-2-45-202 TEL 0258-89-7555
ランチタイム好評中! フリードリンク 日替わりが人気 夕方5時～はビールで乾杯!! BADEN-BADEN ビアホール 長岡市東坂之上町1-4-7 TEL0258-33-5098	ビアレストラン・バーデンバーデンホーフ BADEN-BADEN Hof 長岡市古正寺字新田579 0258・20・5322 ■営業時間(年中無休) 平日/11:00～15:00 17:00～24:00 土・日・祭日/11:00～24:00 セブンイレブン ● 新堀トヨペット ● 公園 BADEN-BADEN Hof ● ジャスコ ● ダイハツ ● 曜や ● ●陸上競技場 至大手大橋 ほら、冷やしておいたよ。 ※お近くのスーパー、小売店でお求めください。 むぎ栄 ☎いろは商店 TEL0258(32)1333
西時計眼鏡店 長岡市学校町3丁目10-16 TEL 33-1719	飲み食い処 たか橋 長岡市大手通り2-3-4 いこいビル2F TEL. (0258) 39-3238

あなたのまちの暮らし & お買物情報満載!!

まるごと生活情報

毎月第2・4土曜日発行

長岡市・見附市・小千谷市に
ポスティング!

10万部無料配布

発行/生活情報新聞社 〒940-2121 長岡市喜多町386番地
☎0258(28)3328 FAX0258(28)3277
Eメール/info@s-joho.com HP/http://www.s-joho.com

会員募集中!

あなたの協力なくしては成り立たない新潟の映画館

新潟・市民映画館シネ・ウインド

新潟市中央区八千代2-1-1
電話025-243-5530

シネ・ウインド 検索



写真のナンバーワン

長岡市大島本町3丁目1-57
ナルス大島店内
TEL&FAX: 0258-27-5100

長信酒店

長岡市弓町1-2-21
TEL 0258-32-0287
FAX 0258-32-0145

かちんこ

長岡市殿町1丁目7-4
Tel.0258-36-6739

玉源株式会社

よりよいオフィスシステムにしませんか

長岡市新産2-7-2
TEL: 0258-46-9339
FAX: 0258-46-9341

文信堂書店

長岡駅CoCoLo内
TEL 0258-36-1360

アウトドア ショップ パーマーク

〒940-1164 長岡市西宮内2-97 TEL (0258) 37-1200
営業時間 / AM10:30~PM8:00 (日・祝祭日はPM7:30まで) 水曜定休
http://www.parmark.co.jp

熊澤義彦

魚沼市小出郷文化会館内 魚沼映画の専門店 映写技師

〒946-0007 新潟県魚沼市四日町1401番地
TEL: 025-792-4527
携帯: 090-4593-7616
E-mail: koide.kuma@docomo.ne.jp

喜多町鍼灸院

はり・灸 藤田芳雄

午前8:30~12:30 午後2:00~6:00
休診 日曜・祝祭日・土曜午後
長岡市喜多町962-4 TEL0258-28-2101

株式会社 関矢設計事務所

代表取締役 関矢茂信 (一級建築士)

魚沼市並柳182 TEL 025-799-2122

Roman d'amour

音楽製作ロマンダムール
——長岡アジア映画祭テーマソング作詞・作曲——
結婚式、各種イベント
音楽製作、実演、承ります。
090-4818-5778 神保幸弘
romandam@io.ocn.ne.jp

La Bonton

小麦の芸術

長岡市今朝白3-4-4 Phone・Fax0258(32)0222
http://www.bonton.jp/

株式会社 長井印刷所

〒940-0025 新潟県長岡市泉2丁目2番2号
Tel (0258) 32-1830代
Fax (0258) 33-4585
URL http://nagai-insatsu.co.jp/

雑本堂 古書店

本・雑誌、捨てる前にまず
さつぱら古書店

TEL (0258) 37-3512
長岡市東坂之上町2丁目3-3
CD、DVD、映画パンフ、チラシ高価買取

居酒屋 やきとり 長岡藩

長岡市大手通り2丁目1-16
でんわ (0258) 35-2188

手づくり陶器とコーヒーの店 でくのぼう

【営業時間】 10:00~18:00
【定休日】 毎週月曜と第2・4日曜
■長岡市与板町与板1527-2
■TEL 0258-72-4092
■http://www5.plala.or.jp/deku-deku/

河合硝子

長岡市宮内3248-4
TEL 0258-34-3456

映画祭の第一回よりお手伝いしています。

MYNET

株式会社マイネット

信頼の18年の実績

■ホームページの作成/リニューアルならMYNETへ
■スマホ対応ホームページも承ります。

TEL 025-278-7270 9:00 am ~ 5:00 pm (土・日・祝日を除く)
URL http://www.mynet.ne.jp/ e-mail info@mynet.ne.jp



—「創る喜び、信頼の品質」—

ISO 9001 認証企業

株式会社 山崎組

本社 長岡市殿町1-5-6 (代表)35-7131

株式会社 旗野住研

阿賀野市保田3270-1 ☎0250(68)5123(代)

長岡米専 (株)長岡米専

940-0827
新潟県長岡市悠久町566-1
☎(0258)32-2249

ワキヤ歯科医院

☎(0258) 35-5210
長岡駅前 市営駐車場となり

コレクター 長谷川 浩一

〒940-1106 新潟県長岡市宮内8丁目5番32号 TEL (0258) 34-3270

新潟で、映画づくりを学ぶ!

9月17日(水) 入学願書受付スタート!
9/21 学校説明会 開催!
9/12 映画 プロデュース科 4年制

i-MEDIA 国際映像メディア専門学校

☎0120-551-400 i-media 新潟 検索 http://www.i-media.cc